

11) 相去地区 (相去地区自治協議会)**●地域の将来像****「人が集い躍動する自然豊かな
境塚のまち相去」**

総合運動公園には、多くの人が集い、新堤には冬の訪れを告げる白鳥が飛来し、スポーツや緑豊かな自然に触れ生き生きしています。

南部工業団地が市内屈指の産業拠点として、人や物が行き交い、まち全体が躍動しています。

国指定史跡「境塚」などの歴史遺産を大切にし、文化を育む豊かな生活があります。

●地域の現状

相去地区は、東西方向に連なる国指定史跡「境塚」を境界とする北上市南部に位置し、現在、世帯数約3,200、人口約8,400人の規模で、地域的には世帯数の約半数以上が集中する大堤地区と概ね準農村地帯の旧相去地区に大別されます。

人口動態は、あまり大きな変動は見られませんが、平成25年度、相去地区15歳未満者の割合、75歳以上高齢者の割合のデータから、市内他地域に比較して、少子高齢化率はやや緩和されており、若い年齢層の割合は比較的高い地域であると言えます。

交通網は、国道・県道・農免道・市道・東北縦貫道などの主要路線が町内をほぼ並行する形で南北に走り、多くの生活道路が比較的整備されています。

北上・金ヶ崎インター周辺には南部工業団地が隣接し、更にその東北部には、オフィシャルカフェ、基盤技術支援センターなどの施設もあり、北上市の産業活動の中核として有機的な活用が図られています。

小・中・高等学校が集中する一帯には、堤を松

林が囲む緑豊かな大堤公園が広がり、更にその西側には白鳥の飛来池で有名な新堤、隣接して北上総合運動公園スポーツ施設等があります。

その恵まれた自然とスポーツ環境を、多くの市民が憩い、集う場として有効に利用・活用しております。特に総合運動公園は、平成28年の国民体育大会主会場に決定していることから、相去地域の取り組み態勢として「おもてなしのまち相去」等の美化・コミュニティ醸成活動の促進が期待されます。

●地域の課題**1 自然環境の保護・保全**

大堤公園を始め豊かで美しい自然環境は、市民の憩いの場として、地域の貴重な資源であり、大切にしておく必要があります。

2 生活基盤の整備に係る要望活動

下水道については、国道4号線西側一帯に未整備地域があります。

工業団地の物流を効率的に機能させる道路等の整備が急務であり、県立中部病院通院等のための赤坂・飯豊線の整備が必要であります。又、市の中心部までの交通手段のない地域もあります。

3 少子高齢化に伴う支援

独居老人世帯及び高齢者二人世帯が増加しています。増加する高齢者が楽しく快適に生活できる体制づくりが確立していません。

独居老人世帯等のサポート体制や安心して出産、子育てができる環境づくりが必要であります。

少子高齢化に伴うサポート体制確立のためには、さまざまな視点にたってコミュニティの醸成を図らなければなりません。

4 総合的な史跡保護・保全

歴史遺産を保護・啓発する事業を積極的に進めておりますが、その活用を図り豊富な歴史環境の中で、文化を育み、豊かな人生を送れるよう総合的な取り組みをする必要があります。

5 農業振興方策の構築

農業従事者の高齢化、後継者問題や休耕田の荒廃、耕作放棄地により農業経営は厳しくなっており、農業の活性化策を図る必要があります。

6 隣接する奥州市江刺区・金ヶ崎町との連携

地域住民の利便、通勤通学者・工業団地・総合運動公園利用者の公共交通の確保のため、隣接する奥州市江刺区及び金ヶ崎町との住民相互の交流推進が必要です。また、商圈、工業生産活動エリアとして、連携したまちづくりを進める必要があります。

●地域づくりのプラン

1 住みよいまちづくり

人間関係が希薄になっている現在、住みよい町にするために、身近で具体的な取り組みを地域全体で実践します。

- ①あいさつ運動の推進
- ②地域コミュニケーションの活性化
- ③地域住民のマナー向上の推進
- ④青少年健全育成活動の支援
- ⑤花いっぱい運動の推進

2 保健福祉のまちづくり

少子化対策の取り組みが重要、特に乳幼児を抱えるお母さん方の仲間づくりのための場の確保等が必要です。また今後は、介護支援を検討して、安全・安心の地域づくりを目指します。

- ①子育て支援
- ②高齢者公園の設置
- ③高齢者サポート支援
- ④町民の体力づくりと生きがいづくり
- ⑤食育の推進

3 安全・安心なまちづくり

各地区に設置された防災組織や交通安全、防犯活動の取り組みを機能的に連動させ、地域住民が安全で且つ、安心して暮らせるまちにします。

- ①自主防災組織の活性化推進
- ②避難場所の整備
- ③街路灯設置
- ④交通安全・防犯活動の推進

4 生活基盤の整備に係る要望活動

通学路及び生活道路として未整備箇所があり、整備の必要があります。

生活排水の未整備地域も多くあり、自然環境を守ることや、生活向上を図るため、下水道が

必要であります。

- ①道路の整備
- ②下水道整備
- ③国見橋歩道橋設置促進
- ④交通アクセス促進
- ⑤公園整備

5 潤いのある景観づくり

現在進めている自然の森の整備を更に拡大・充実させ、企業と連携した緑地景観にも配慮し、緑豊かなまちにします。

- ①大清水水源保安林の環境整備
- ②白山の森一帯の景観整備
- ③南部工業団地内企業の緑地帯整備拡大

6 郷土に学ぶ

郷土に誇りと愛着のもてる風土形成のために、地域にある様々な歴史文化遺産の周知、活用を図り、その範囲を点ではなく、エリアとして保護・整備することに努めます。

- ①藩境史跡関連の整備
- ②奥州街道関連遺跡の整備
- ③郷土芸能の保存と継承
- ④文化財、人物、樹木の調査整備と活用

7 地域産業の振興

農産物の加工開発や販売のシステムを作り、活性化を図ります。また企業との交流を行うことにより、共存共栄を図ります。

- ①産地直売と特産品加工施設の設置
- ②貸農園の開設
- ③地域住民と企業の交流共生事業の開催